欄外見出し: 報告書の簡単なタイトル (50 文字以内)

# 報告書のタイトル

# 作成者

# 所属

# 概要

概要では、報告書の最も重要な内容を 200 字 (1 段落) 程度でまとめます。数値はすべて算用数字を使用してください (ただし文頭はスペル アウト)。文字数を調べるには、[ツール] メニューの [文字カウント] をクリックします。

# 報告書のタイトル

報告書はまず序文から書き出し、なるべく受動態ではなく能動態にします。

このテンプレートは、APA のスタイルに従って書式が設定されています。上下左右の余白は 2.5 cm、フォントは Times New Roman を使用し、ダブル スペース、左揃え、最初の行は約 5 ～ 7 文字分の字下げを設定しています。ページ番号は各ページの先頭行の横にページ右端から 2.5 cm のところに表示します (図のページは除く)。

# 見出し

報告書のセクションは、見出しや小見出しを付けて区切ります。見出しの最初のレベルは、最初の文字を大文字にし、中央揃えにします。見出しのたびに改ページを挿入しないでください。

## 小見出し

小見出しは斜体、字下げなしの左揃えにします。

## 引用文

他の文献からの情報を引用する場合は、報告書の本文中にその参考文献の著者と発行年を明記するものとします。報告書の本文に続く参考文献の一覧には、文献の詳細を列挙します。参考文献の著者名を文章の一部とする場合は、著者名の後に発行年を括弧で付記します。たとえば、Smith (2001) とします。著者名を文章の一部に入れない場合は、著者名と発行年を両方とも括弧で囲み、間にセミコロンを付けます。たとえば、(Smith and Jones, 2001; Anderson, Charles, & Johnson, 2003) とします。3 ~ 5 名の共著者がいる場合は、その文献を最初に引用するときに全員を列挙し、2 回目以降は最初の著者の姓だけを挙げて「et al.」と付けます。次の段落に例を示します。

Use of this standard APA style “will result in a favorable impression on your instructor” (Smith, 2001). This was affirmed again in 2003 by Professor Anderson (Anderson, Charles & Johnson, 2003).

文献が 2名の著者による共著である場合は、常に両方の名前を付記するものとします。6 名以上の場合は、常に最初の著者の姓だけを挙げて「et al.」と付けます。参考文献にある情報をそのまま引用する場合は、その著者の名前、発行年、ページ番号を明記します。40 語以内の文章を引用する場合は、二重引用符で囲み、本文中に組み込むものとします。40 語以上の文章を引用する場合は、引用符は付けずにその文章を単独の段落とし、左側の余白から 5 文字分の字下げを設定します。1

# 参考文献

Anderson, Charles & Johnson (2003). *The impressive psychology paper.* Chicago: Lucerne Publishing.

Smith, M. (2001). Writing a successful paper. *The Trey Research Monthly*, *53*, 149-150.

参考文献は 1 人目の著者の姓を基準にアルファベット順に並べ、2 行目以降をぶら下げに設定します。通常は次の 3 つの情報を記します。

1. 著者名: 原典の記載と同じ順序で、姓とイニシャルを記します。著者名の間はコンマで区切ります。7名以上の共著者の場合は、最初の 6名までの名前を挙げて最後に「et al.」と付けます。著者が不明な場合は、文書のタイトルを先に記します。
2. 発行年: 著者名の後に括弧で囲みます。括弧の後にピリオドを付けます。発行年が不明な場合は、著者名の後に (n.d.) を入れます。
3. 参考文献: タイトル、雑誌名、号、ページ (雑誌記事の場合)、またはタイトル、発行場所、発行者 (書籍の場合) を明記します。

# 付録

付録はそれぞれ単独のページに記します。

# 脚注

1APA スタイルの書式について詳しくは、刊行物の手引書を参照してください。

Table 1

*表の説明文は斜体とします。表はそれぞれ単独のページに記します。*

[ここに表を挿入]

# 図の見出し

*Figure 1.* 図の見出し

# [ここに図を挿入 – このページには本文のタイトルやページ番号を入れません]